

日本生体医工学会 平成 19 年度 第 3 回理事会 議事録

日時：平成 19 年 11 月 14 日 15 時～17 時

場所：東京大学学士会館 2 階 8 号室（東京都文京区）

出席者

| 会長 | 副会長 | 理事 | | | | | | | | | | | | | | 監事 | | 支部長 | | | | | 幹事 | 事務局 | | | | | |
|------|------|-------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|
| 土肥健純 | 楠岡英雄 | 佐久間一郎 | 安藤譲二 | 石原謙 | 伊関洋 | 稲田紘 | 菊地眞 | 佐藤正明 | 砂川賢二 | 千田彰一 | 田村俊世 | 千原國宏 | 辻岡克彦 | 福井康裕 | 堀正二 | 三田村好矩 | 南谷晴之 | 山本克之 | 山口隆美 | 山越憲一 | 有澤準二 | 江刺正喜 | 岩田彰 | 梶谷文彦 | 高田重男 | 三宅仁 | 村垣善浩 | 神保泰彦 | 村上聡 |
| | | | | | × | | 委任 | | 委任 | 委任 | | × | | | | | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |

記録：小林（代理）

配布資料

平成 19 年度第 3 回理事会議題

19-3-2 平成 19 年第 2 回理事会議事録（案）

19-3-3 平成 19 年第 3 回理事会入退会審査対象者

19-3-4 第 29 回第 2 種 ME 技術実力検定試験 報告書

19-3-5 平成 18 年度選奨委員会

19-3-6 専門別研究会規程

19-3-7 平成 19 年度選挙管理委員（案）並びに選挙実施スケジュール（案）

19-3-10 感謝状贈呈に関する申し合わせ

19-3-11 生体医工学シンポジウム規約（案）

19-3-12 （株）コロナ社 編集部

19-3-13 第 47 回日本生体医工学会大会

MEMORANDUM

第 29 回第 2 種 ME 技術実力検定試験筆記試験問題

議事

1. 理事会成立（総務：佐久間）

定款に定める要件を満たしている（12 名出席 + 3 名委任状 / 15）ことを確認して成立を宣言した。

2. 前回議事録案（審 総務：佐久間 資料 19-3-2）

原案通り承認した。

3. 入退会状況（審 会員：千田 代理 土肥 資料回覧）

入会：正会員 5 名 準会員 4 名 維持会員 0 社

退会：正会員 20 名 準会員 0 名 維持会員 0 名 名誉会員 0 名 顧問 2 名

会員資格等変更：3 名

全入退会、資格変更を承認した。

この結果、現況は正会員（国内）2,442 名、正会員（海外）42 名、準会員（国内）381 名、準会員（海外）0 名、維持会員 19 社 29 口 顧問 5 名、名誉会員 51 名となった。

4. ME 技術教育委員会（報・審 ME 技術教育：稲田 資料 19-3-3）

・9 月 9 日第 13 回第 2 種 ME 技術実力検定試験が行われ、全国で受験者 1466 人 合格率約

32.8%で例年通りの結果であった。

- ・合格者数 1466 人が報告され承認された。
- ・6 - 7 月に医療機器センターと連携して安全機器講習会を行った。今年 4 月に医療法の改正が行われたために、医療機器センターよりこれに関する講習会についても、生体医工学会に協力してほしいとの要請があったため、理事会に報告する上に協力することとした。
- ・手術室への立ち会い制限について、意見交換が行われた。

5. 学術 (報・審 学術：三田村 資料 19-3-6)

- ・専門別研究会協議会について来年度新設公募予定が報告された。
- ・専門別研究会評価委員会委員について、提案がなされ、承認された。
- ・専門別研究会規程についての改訂について改訂・追加が提案され承認された。
- ・4 月 25 日 (仙台大会時) に、評議員会を開催して、評価委員会の設置の趣旨についての説明を行った。また会員への広報についての報告がなされた。

6. 選奨委員会 (報・審 選奨：南谷 資料 19-3-5)

- ・各賞の選定委員会委員について提案がなされ、承認された。
- ・資料訂正 平成 18 19 年度
- ・科学新聞との今後の協力関係について議論がなされた。

7. 大会 (審・報 大会：堀 資料 19-3-10)

- ・非会員の招請講演者への感謝状贈呈に関する申し合わせについて提案がなされ、以下の追加を行うことを条件として、承認された。
「贈呈の要請は書式にて、2 週間前までに行うこと」

8. 選挙管理委員会 (審・報 選挙：田村 資料 19-3-7)

- ・選挙管理委員会会員及びスケジュールの提案がなされたが、再度事務局でスケジュールを確認することとした。

9. 教育 (審・報 教育：田村)

- ・サマースクール 2007 の開催報告がなされた。
- ・サマースクール 2008 について、今回は機械学会と協力するということで、岡山理科大学内貴先生とテーマについて相談し、画像関係の基礎的内容を予定で、プログラムを構成することとした。
- ・教科書シリーズについて材料関係の先生から、内容を改訂したいとの要望があり、承認された。
- ・まだ発刊されていないテーマの監修の先生の変更について、議論がなされた。

10. 国際 (審・報 国際：田村)

- EMBC2013 年日本開催立候補について、本部から打診があった。日本生体医工学会として、協賛するということでした承された。

1 1 . 規約（審・報 規約：南谷 資料 19-3-11）

- ・生体医工学シンポジウム規約案について提案がなされた。
- ・シンポジウム特集論文の編集機能および責任の所在についての議論がなされた。責任は本体の編集委員会にあるため、編集委員長はあくまで学会の編集委員長にすべきであること、一方で学会編集委員会の負担の軽減、及びシンポジウム組織委員のモチベーションの維持についての意見が出された。
- ・規約には以上の議論をふまえた内容を加え、次回に再度案を提案することとなった。
- ・本シンポジウムについて問い合わせが多いとの報告が事務局よりあった。過去の抄録については、当該年度の担当支部に問い合わせてもらおうこととした。

1 2 . 生体用センサと計測装置の翻訳出版について（審・報 : 土肥 資料 19-3-12）

- ・韓国より生体用センサ計測装置の翻訳出版の申し出があった。前回バイオマテリアル翻訳出版を行った時と同じ条件での出版が提案され、承認された。

1 3 第 47 回大会（報告 大会：堀 資料 19-3-13）

- ・大会予定が報告された。ウェブ投稿の問題が指摘されたが解決された旨が報告された。
- ・招請講演、シンポジウム、オーガナイズドセッションについて報告された。
- ・臨床工学技士についての問題点についても検討、関連学会、行政側を呼んでディスカッションを行うことなどが提案され、検討することとした。

1 4 . その他

- ・就任時に土肥理事長から各理事に出した宿題についての報告を次回、次々回までに報告することとした。
- ・東北大学で来年 4 月から医工学研究科が発足される予定。
- ・アジア太平洋生体医工学会（4 月 22 日 - 25 日(北京)）の抄録締めきりが 12 月 20 日である。

以上